

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、11. お問い合わせ先まで遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

子宮平滑筋肉腫における免疫染色マーカーと遺伝子変異の予後予測における意義

1. 対象となる患者さん

2003 年 1 月～2025 年 12 月の間に当院で子宮平滑筋肉腫の治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 病理診断学講座 内山 智子

3. 研究の目的と意義

この研究は、病理診断が行われた子宮平滑筋肉腫を対象として、予後予測因子となりうる臨床病理学的因子を特定することを目的とし、免疫染色結果の解析及び次世代シーケンサーや MLPA 法を用いた遺伝子変異解析、臨床病理学的検討を合わせて行います。この研究の成果は、新たな予後因子を見だし治療法の開発につながることを期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す試料・情報を対象の患者さんのカルテから取得される臨床情報、病理組織学的所見、放射線画像、分子遺伝学的情報を収集し、特に免疫染色結果と体細胞遺伝子変異などの分子・遺伝子異常及び予後の関連を検討するとともに、総合的な臨床病理学的検討を行います。

5. 使用する試料・情報

試料：病理診断に用いたガラススライド、パラフィンブロック、ホルマリン浸漬材料

情報：年齢，性別，既往，家族歴，症状，血液検査，臨床診断を含む電子カルテ情報，放射線画像情報

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長 嶋 緑倫

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. 研究に関する情報の公開について

本研究では、全エクソン解析による網羅的遺伝子解析を実施する予定としているため、得られたデータは公的データベースに登録し、国内外の研究者間で共有される可能性があります。公開にあたり、ゲノムや遺伝子の配列データは、審査・承認を経た限られた研究者のみが利用可能（制限公開データ）として登録します。解析後の集計結果や頻度・統計情報等は、制限なく不特定多数の方が利用可能となります。

10. 遺伝カウンセリングについて

本研究は、疾患に伴って生じる遺伝子発現の変化を解析するため、遺伝性のあるゲノム変化を主目的とした解析とは異なります。ただし、遺伝子解析研究や疾患などに関して不安に思うことや、ご相談したい方には、カウンセリングを担当する専門のスタッフをご紹介します。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 病理診断学講座 内山 智子

住所：奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051

e-mail：uchiyama0403@naramed-u.ac.jp